

## 【新年のご挨拶】

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆様には日頃より明和町の行政各般に格別なるご理解、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

## 【コロナに負けない持続可能なまちづくり】

昨年は、世界に拡散いたしました新型コロナウイルス感染症に翻弄された年となりました。明和町におきましても、感染症予防対策に伴う経済の減速が心配されております。本年も昨年に引き続き、町民の皆様の感染症予防対策と、町内事業者の方々の事業継続が可能でありますように支援を進めてまいります。

## 【民間資金と国庫補助事業でまちづくり】

そのような中でしたが、昨年9月23日、川俣駅東口に医療・保健センター複合施設の起工式が河本工業(株)様の主催にて行われました。この医療・保健センター複合施設は、国の立地適正化(コンパクトシティ)構想の国庫補助金を活用しながら「明和町」と「(株)邑楽館林まちづくり」と「明和町土地開発公社」、そして本事業を実施するにあたりプロポーザルによって選定された民間企業の「河本工業(株)様」の4者におけるPFI(※注)として実施されるものです。

このPFIの導入により、事業コストの削減だけでなくより質の高い公共サービスの提供が期待されます。

今回の建設工事は、まず国の補助金を活用し、駅舎2階改札口から地上に降りることなく、施設へ直接アクセスできるように「ペDESTリアンデッキ（高架歩道）」を作ります。その先に、複合施設として保健センターが移転いたします。この保健センターは、建て替えるための補助金は通常ありませんが、明和町は前述の立地適正化構想の国庫補助金を活用し、建て替えられることになります。その保健センターと複合化する施設が病院及び小児科クリニック、院外薬局等です。

## 【避難施設を】

一昨年の台風19号が襲来の際、明和町で初めて全域の避難指示が出された経験から、当時の全区長の皆様より「町が公共施設を建てる場合には、避難場所の確保をしてほしい」と要望を受けておりました。そこで、建物の一部を3階建てとして、明和町土地開発公社の事務所・会議室を兼ねた避難施設を確保できるようにいたしました。

## 【温泉施設も誘致します】

川俣駅西口では温泉掘削が終了し、現在1500メートルの温泉井戸が完成しております。地下に何層もの温泉層が確認されており、ここに温泉施設とビ

ビジネスホテル、さらに商業施設を誘致してペDESTリアンデッキ等で繋がります。町では5年間で7億6千万円を用意し、国庫補助を7億1千万円と民間資金を40億円出していただいて、川俣駅東西の周辺開発を行う予定です。

東口の医療複合施設は、本年10月の竣工を予定しております。西口の温泉施設、ビジネスホテル及び商業施設の誘致は、その後1年遅れ位の日程です。

明和町の移住・定住に寄与する医療と温泉施設等が駅前に来ることで、明和町のランクが一段と上がると思います。

## 【福祉もさらに充実！】

今回の病院の進出により将来、介護の医療現場である介護医療院も視野に入ってきました。今後、65歳以上の高齢者数は2042年にピークを迎えると予測されており、より効率的に介護サービスを行ううえで、介護医療院の併設には期待がもてます。介護保険でベッドを増やし医療も行える介護医療院も設置できれば、明和町の医療・福祉は益々充実してまいります。

## 【教育現場・GIGA スクール構想】

教育におきましては、東西小学校児童・中学校生徒に国庫補助を使って一人一台、学習用の情報端末機を導入するとともに、高速大容量の通信ネットワークを整備し、クラウドを活用した教育が行える環境を整えてまいります。学校、教育委員会、町、情報担当部局など関係者が一丸となって、子ども達一人一人

に個別最適化された創造性を育む教育「ICT環境」の実現に取り組んでまいります。

## 【オールインワンのまちづくり】

本年も、昨年に引き続き「オールインワンのまちづくり」を進めてまいります。

この実現のため、しっかりと財政基盤を整え、競争力の高い町にしていくことが求められております。

企業誘致による財政力の向上と、昼間人口や交流人口の増加を推進し、町の賑わいと活気の創出を目指してまいります。そして、町の東部地区、中部地区、西部地区をバランス良く開発して活性化してまいります。

昨年12月、以前より取り組んでおりました東北自動車道の東側45ヘクタールの工業団地の認可及び、国道122号バイパス西側の集客施設の認可が得られました。そこへ優良企業と大型店舗の誘致を行っていきたいと思います。

この町で生まれた人々が、そして移住定住した人々が就職する職場があり、買い物や家族で食事ができる場所があり、教育も福祉も充実した安全安心の町。そんな誰もが住みたくなるような「オールインワン」の笑顔あふれる町にすべく、今後も官民連携による民間資本を活用した新しい考え方でまちづくりを進めていきます。

## 【結びに】

皆様からいただきましたご意見を参考にしながら、町のさらなる発展をめざし全力で取り組んでまいりますので、今後とも何卒お力添えのほど、よろしくお願いたします。

結びに、新型コロナウイルス感染症の終息を願うとともに、本年が皆様にとりまして、そして本町にとりましても素晴らしい飛躍の1年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

(※注) P F I とは民間資金を活用した公共事業を実施する手法のことです。P F I 法に基づき、民間の資金とノウハウを活用して、公共施設等の建設や維持管理及び運営を行う手法です。P F I の推進は、S D G s (持続可能な開発目標) の実現にも寄与するものです。

令和3年1月吉日

明和町長 富塚もとすけ